

第 20 回 高山市近代文学館企画展

高山市名誉市民

瀧井孝作

没後三十年展

- 第 1 部 -

平成 26 年 2 月 15 日(土)~16 日(日)

於 高山市図書館「煥章館」

主催 (一社)高山市文化協会

共催 高山市

## ごあいさつ

高山市名誉市民で作家の瀧井孝作が亡くなって、今年は30年を迎えます。

代表作の『無限抱擁』『俳人仲間』『風流人』のほか、釣りに関わる随筆などを数多く残し、また、河東碧梧桐を師として「折柴」の名で、『折柴句集』『瀧井孝作全句集』の発刊など、俳句の世界にあっても多くの作品を残しています。

明治・大正・昭和を生きてきた瀧井孝作は、少年期の柚原畦董、福田鋤雲と河東碧梧桐等との出会い、さらに青年期には志賀直哉を恩師とし、以後芥川龍之介、武者小路実篤、阿川弘之等の交流もあって、日本文学大賞ほか各章を受賞。なかでも半世紀にわたり芥川賞選考委員を務めたことは、なにより文学者としての地位を確固たるものとししました。

若くして高山を離れましたが、作品の中での郷土飛騨高山へ寄せる心を、作家の阿川弘之は「瀧井さんの父上は、名人と呼ばれた飛騨の指物師でした。その血をつぐ息子の孝作は、コツコツと精魂こめて、立派な『文学の細工物』をたくさん創り出しました。」と評しています（瀧井孝作生誕百年記念「飛騨高山と瀧井孝作『瀧井作品の面白さ』から）。

こうした功績が認められ、昭和44年勲三等瑞宝章、49年には文化功労者として顕彰され、翌年には勲二等瑞宝章に昇叙されています。さらに昭和46年に高山市名誉市民、昭和50年には東京都八王子市名誉市民の栄誉に浴し、名実ともに日本を代表する作家となりました。

今回の企画展では、瀧井孝作没後30年を機会に、長年の文学における筆跡を、作品を通じて紹介し、改めて文学に対峙する姿勢を認識しようとするものです。しかし極めて作品が多いため全ての展示が叶わず、会場の許す範囲で作品を選出して、小説及び随筆等を中心に作家活動の昭和30年迄を前半として第1部、それ以降は次回に予定しています第2部で構成しました。また俳句に関しては別途改めて企画展を予定しています。

本日は態々ご来場下さいまして、誠にありがとうございます。

平成26年2月

一般社団法人 高山市文化協会

年号	作品名	書名/掲載	年号	作品名	書名/掲載
[第一部]			大正14	◆ゲテモノ	改造 秋季号
明治42	◆ホトトギス			松倉	文芸春秋
大正 1	◆六甲まで (吟行)	層雲 5月号	15	◆養子	改造 新年号
2	◆息 (散文)	層雲 4月号		俳句会	日本小説集 第2集
3	◆俳句 飛騨街道惜春 高山の下駄	俳誌「ツチグモ」		ジャコブソ	改造
	◆ほんたうの事	層雲 新年号		大阪商人	女性
4	病魔 二十一の旅	俳誌「海紅」 層雲 新年号	昭和 2	お葉小母	中央公論
	◆俳句「折柴」	佐知田俳句集		井戸	文芸春秋
5	◆飛騨学寮より	ツチグモ第12号		結婚まで	中央公論
	◆飛騨高山の春	ツチグモ第13号		夢	文芸春秋
6	龍眠	龍眠会機関紙に		俳句「菜畑」	「手帳」創刊
7	節分	海紅		◆お葉小母	改造
8	◆新傾向句の話	文章倶楽部8月号		見習記者	日本小説集 第3集
	人間を土台として (文芸時評)	時事新報		博打	文芸春秋
9	旅	新潮 新進作家号		田舎の父	大調和
	回想の高山			紋付	女性
	祖父	新潮		◆田端	中央公論
	弟父	サンエス			文芸春秋
10	父 (処女作)	人間 第1巻第4号4月	3	◆無限抱擁	芥川追悼号
	竹内信一 (「無限抱擁」の二)	新小説		父きたる	武者小路実篤編集
	安房山越へ			トシコ	「大調和」創刊
	養子		4	◆博打	[改造社刊]
	◆良人の貞操	[新潮社刊]		暑い日	改造
	中務大輔の娘	表現		風流人	週刊「百華新聞」に連載
11	◆一枚の版画	太陽 (掲載原稿)	4	河骨	日本小説集 第4集
	◆妹の問題	改造 6月号		現代俳句集瀧井孝作篇	文芸春秋
	小石川の親類	新潮		◆瀧井孝作集	週刊朝日
	◆隣家	文章倶楽部 10月号		梅村騒動	現代日本文学全集
	◆妹の問題	[玄洞社刊]		たぬき	新進傑作小説
	◆いもうとのもんだい	(執筆原稿)	5	◆故郷の話	全集第十二巻
12	C子の自由	新潮		不易流行	文芸春秋 新年号
	別荘番	文芸春秋		◆父の活計	新潮
	無限抱擁 (「無限抱擁」の三)	改造		◆弟・父 (限定版)	改造
	◆良人の貞操	[新潮社刊]		飛騨ノ国分寺	成瀬書房
	◆沼辺通信 (「無限抱擁」の四)	新潮 (掲載原稿)		孝之のこと	
13	◆狝	改造 2月号		冬支度	
	飛騨の雪			飛騨の風景	
	◆京都南座 2月狂言	新演藝		◆風流人	[雅博那書房刊]
	弾力のある気持	改造		◆八王子にて	文芸春秋 11月号
	◆妻の親	改造 5月号	6	風流人	[やぼんな書房刊]
	異臭	文芸春秋		酔蜂君	週刊朝日
	◆信一の恋 (「無限抱擁」の一)	改造 秋季号		舎人達の失敗	文芸春秋
	◆亀田の娘	大阪毎日新聞連載 (原稿)		交友目録	作品
	露滴庵近事	新小説		◆折柴句集	[やぼんな書房刊]
14	◆仏法僧	琴の物語		◆邦男と二宮と	文芸春秋 10月号
	飛騨高山物語	新潮		飛騨高山の郷土色	
	さけよひ	飛騨高山の尋五女 生徒のかいたもの		◆隣一二軒	文科

年号	作品名	書名/掲載	年号	作品名	書名/掲載
昭和7	◆鮎釣日記抄	改造 9月号	昭和15	木村土居名人戦将棋観戦記	毎日新聞
	鮎釣入門記	文芸春秋		◆結婚まで	[砂子屋書房刊]
	短篇小説4篇	明治大正昭和文学全集(現代作家編)		16 ◆無限抱擁	[岩波文庫刊]
	国なまり			故郷の雪	月明
8	生れ在所	文芸春秋	文化連盟の結成	文芸春秋	
	田園と俳句	俳句講座特殊研究	◆折柴隨筆	[三笠書房刊]	
	楯・ハル木	新潮	◆父(短編集)	[高山書院刊]	
	◆釣り歩るき	週刊朝日 初夏号	漢碑の気(瀧井孝作の書)	墨	
9	初奉公		題字「書物展望」	書物展望	
	慾呆け	文芸春秋	17 地方の文化運動		
	最初の原稿料は何に使ったか	文芸通信	芥川龍之介賞選評	文芸春秋	
	◆哀しき老父	改造 12月号	◆稚心	[小山書店刊]	
10	山中釣遊	新潮	新京極にて	文学京都	
	作家の俳句	文芸	18 芥川賞選評	文芸春秋	
	俳句「手帳より」	俳句の研究	◆瀧井孝作(参考文献)	文章往来	
	◆慾呆け(短編集)	[文体社刊]	◆浮寝鳥	[石原求龍堂刊]	
11	Y君とぼくと	文芸春秋	◆航空隨筆	改造 9月号	
	秋雨艸々		19 ◆曲技飛行	八雲	
	梅見	中央公論	◆狂言の写実	能学全書(原稿) (能・狂言の鑑賞)	
	彼の周囲	文芸春秋	21 ◆無限抱擁	[鎌倉文庫刊]	
12	金鉢の夢	改造	◆大火の夜	人間 4月号	
	山女魚	季刊文科	◆今は昔	座右宝	
	◆無限抱擁	[創元社刊]	よいものを	小国民の友	
	◆折柴隨筆	[野田書房刊]	戦場風景(未完)	世界	
13	◆責任自殺	中央公論 50周年号	◆雪間の菜	[鎌倉書房刊]	
	◆住宅	文芸春秋 新年号	◆故郷(短編集)	[三島書房刊]	
	外村繁君とぼく	文芸雑誌	俳句「鮎」	改造	
	志賀直哉対談日誌	文芸春秋	冬春十句	素直	
14	奈良の春 鮎釣入門記	昭和隨筆集	22 ◆風流人	[光文社刊]	
	文学的自叙伝	新潮	俳句「柿紅葉」	群像	
	山女魚	中央公論	俳句「うつくしき日」	光	
	ゲテモノ雑記		◆志賀直哉対談日誌	[全国書房刊]	
15	積雪	改造	俳句「牡丹の肌」	素直	
	無限抱擁	[創元社刊]	大火の夜	日本小説代表作全	
	風物誌	都新聞	俳句「我家」	文芸春秋	
	碧梧桐「追悼記」	中央公論	◆琴の物語	少年のための純文学	
16	◆故郷	中央公論	朴の葉		
	◆室生寺の秋	日本小説代表作全	23 ◆無限抱擁(30版、S50年発行)	[新潮文庫刊]	
	幼な顔	好日紀行	梅の花	素直	
	干わらび	新潮	◆子供と魚釣	幼年	
17	父祖の形見	文芸春秋	◆結婚まで	[小山書店刊]	
	◆風物誌	[砂子屋書房刊]	◆蟹	作品	
	武漢作戦従軍記「廬州の雨」	読売新聞	◆碧梧桐の俳句	文芸往来	
	武漢作戦従軍記「上海より廬州まで」	文芸春秋	「雪明り」の作者	素直(復刻)	
18	◆積雪	[改造社刊]	直接描写	喜多	
	土居神田決戦将棋観戦記	毎日新聞	◆無限抱擁	[春陽堂文庫刊]	
	惜春抄	俳句研究	教養と人柄と持味	文芸春秋	
	鮎釣風景	中央公論	25 ◆伐り禿山	改造文芸	
19	◆棋士の俳句	新風土 7月号	◆琴の物語	創作代表選集	
				少年のための純文学	

年号	作品名	書名/掲載	年号	作品名	書名/掲載
昭和25	◆裸婦	新小説 日本小説代表作全 心	昭和31	[第二部] (今秋開催予定)	
	◆初舞臺	中央公論文芸特集		装幀のことなど	文芸 「志賀直哉読本」
26	◆戦場風景	芥川賞選後評「国際的小説」	無限抱擁	「河出文庫刊」	
	◆郷愁	[中央公論社刊]	志賀さんの文学	群像	
27	◆身辺新緑	群像 10月号 創作代表選集 7	道志川	別冊文芸春秋	
	◆瀧井孝作集	芥川賞選後評「型破りに」	歌と俳句との間	短歌	
28	◆純潔	座談会「創作合評」	飛騨の小坂と馬瀬		
	◆碧梧桐のことなど	新潮 新年号	河東碧梧桐	俳句読本	
29	◆蕪村と暁臺	無限抱擁	原稿を読む	素直	
	◆松島秋色	山の姿	灯蛾	心	
30	◆芥川賞の作家たち	久しぶりの岐阜	素直	素直(復刻)	
	◆木登り	濃飛人	跋	狂人物語	
31	◆今昔譚二つ	群像	原稿を読む	素直	
	◆人物素描(川端康成・人と作品)	文学界(連載)	原稿を読む	素直-	
32	◆野草の花(随筆集)	群像 8月号	隨筆	暮しの手帳	
	◆能面挿話	「随筆」傑作集	無限抱擁	現代国民文学全集	
33	◆釣なかま	別冊文芸春秋	島村利正君の小説「原稿を読む」	同人誌「素直」	
	◆文学を見る 瀧井孝作	心 2月号	解説 島村利正君の小説	残菊抄	
34	◆碧梧桐句集	文芸	----- 原稿を読む	素直	
	◆芥川さんの俳句	文芸 3	無限抱擁	「日本国民文学全集」 の大正名作集	
35	◆随筆「河東碧梧桐」	文学界 4月号	----- 原稿を読む	素直	
	◆小説「逝く春」	[筑摩書房刊]	狂言記礼讃	国文学解釈と鑑賞	
36	◆積雪	群像	アンケート「正しい裁判を」	松川裁判 中央公論	
	◆結婚まで	市民文庫「瀧井孝作」	芥川さんのことども	別冊文芸春秋	
37	◆猫	中央公論 夏季号	飛騨の品漬		
	◆大山花村早指将棋観戦記	世界	原稿を読む	素直	
38	◆涼風漫語	群像	寝袋	心	
	◆瀧井孝作集	[角川書店刊]	年魚・香魚・四	風報随筆	
39	◆飛騨高山	毎日グラフ	生のまま素のまま	生のまま素のまま	
		文章概論	生ママ素ママ 後記	素直	
40		文章雑談	追憶	紅いノート	
		文芸(芥川龍之介読本)	飛騨言葉の美しさ		
41		(執筆原稿)	随筆集「海ほぼづき」	随筆集「海ほぼづき」	
		心 2月号	俳句「冬木立」	ざこくらぶ	
42		俳句	装幀楽屋話	心 1月号	
		碧梧桐全句集	魚釣り	文学に見る日本の川 -多摩川-	
43		昭和短篇集	海ほぼづき 後記	素直	
		[角川文庫刊]	プリ・品漬・岩梨		
44		猫	春慶塗のこたつ		
		産経新聞に連載	俳句「手帳より」	心 11月号	
45		小説新潮	小沢碧童のこと	俳句	
		東京新聞	青萼の梅	群像	
46		「現代日本文学全集」第40巻	俳句「芦の角」	ざこくらぶ	
			芥川賞と宇野浩二	文学界	
47			飛騨の赤無	あまから	
			大山升田三番勝負決戦将棋観戦記	産経新聞(連載)	
48			室生(犀星)さんを悼む	心	
			街路樹	心	

年号	作品名	書名/掲載	年号	作品名	書名/掲載
昭和37	平泉秋色	国語三	昭和44	俳句「花バラ」	心250特集号
	高山			「飛騨高山」(観光ポスター題字)	[高山市公式意匠登録]
38	私小説作家の精神(座談会)	群像	45	俳句	日本の詩歌
	野趣	群像		一伊藤観魚一名古屋の書家	観魚
	一本橋	新潮		俳句	墨美
39	俳句「花草一束」	心		まだ丈夫な私の齒	朝日新聞
	芥川賞三十年	文芸春秋		俳句「冬夏抄」	心
	定家かづらの花(佐藤春夫追悼)	心	46	ノソキな店員「俳人仲間」の第2編	新潮
	碧梧桐の鮎の句	朝日新聞PR版に連載		朝富士・夕富士	日本経済新聞
	高山の朝市			波郷の俳句	「石田波郷全集」 月報第四号
	高山の塩煎餅			鮎釣と老人	潮
	飛騨 風土と民俗評	深い郷土愛にうたれる 荒垣秀雄・細江光洋著		ほととぎすの句など	朝日新聞
40	郷愁の句	心		居直った強さ	内田百閒怪集を推す
	俳句「鮎十句」	ざこくらぶ		志賀直哉追悼文	新潮
	故郷飛騨高山	潮		文学七十年 五十年前の思い出	新潮
	解説一生々澁刺した作品	志賀直哉自選集		芭蕉の句	ちくま
	瀧井孝作集	現代文学大系		童心	八王子高等学校 ぶんしゅう
41	行摩りのひと	心		俳句「栢の実」	心
	河東碧梧桐と中村不折	墨美		志賀さんの奥さん	新潮
	俳句「ひとを訪ねて」	小説新潮		叱られる(志賀直哉追悼特集)	心
	秋萩帖の歌	心		むかしの思出(武者小路実篤集)	日本文学全集
42	選句論	俳句	47	志賀さんの書	群像
	くちなしの実	朝日新聞		碧梧桐のことなど「俳人仲間」の序	新潮
	小説の読み方	東京新聞		市谷加賀町訪問 梅原龍三郎さんのこと	東京新聞
	愛の純粋な美しさ	作家と女性の間		足柄海館訪問 中川一政さんのこと	東京新聞
	春の旅	俳句		椿咲く	文芸春秋五十年記念号
	随筆「能の話」	心		画文一致	三彩
	松山行	太陽		選評に同感	八王子高等学校 ぶんしゅう
	縫合せの貝	朝日新聞		俳句「夏花抄」	心
	瀧井孝作集	日本文学全集		近況	朝日新聞
	俳句「花竜胆」	小説新潮		無限抱擁	日本文学全集
43	古拙微笑の芸術	学燈		型破り	文芸春秋臨時増刊 ・坂の上の雲と日露戦争
	瀧井孝作集	日本の文学		風信	東京新聞
	福田家の人達「むかしの地方文化人の生活」	新潮		瀧井孝作集	現代日本文学大系
	野趣(読売文学賞小説賞受賞作)[大和書房刊]		48	初めての女「俳人仲間」の第3編	新潮
	随筆「翁草」	[求龍堂刊]		俳句「石榴」	心
	世阿弥の「求塚」と漱石の「心」	特集 現代俳句の作家		風景は好き	八王子高等学校 ぶんしゅう
	瀧井孝作集	日本短篇文学全集		未発表原稿を読む	「志賀直哉全集」 内容見本
	無限抱擁	日本の名作		出郷「俳人仲間」の第4編	新潮
	広津(和郎)さんを惜しむ	世界		志賀直哉宛書簡	図書
	俳句「駒ヶ根行」	心		志賀さんの生活	東京新聞(連載) 第1編～第13編
44	飛騨高山にて「俳人仲間」の第1編	新潮		私の愛誦する一句 精一杯生きた人	文芸春秋臨時増刊 日本縦断 芭蕉・ 蕪村・一茶の旅
	仏者六花翁	俳句		思い出	エッセイ
	心をこめて書くこと	八王子高等学校 文集		「制作は発見也」瀧井孝作先生と書	
	将棋の部屋	有段者 将棋名鑑		能の神様	心
	瀧井孝作集	現代日本文学館		俳人仲間(日本文学大賞受賞)	[新潮社刊]
	俳句集	文人俳句歳時記			
	(作品掲載)	日本文学全集			
	無限抱擁(初版の復刻版)	(日本近代文学館刊)			
	大火の夜	多摩文化			

年号	作品名	書名/掲載	年号	作品名	書名/掲載
昭和48	書生の心持	河東碧梧桐「三千里」上巻、復刻「三千里」序	昭和52	実感	作者の文体
	未発表日記の校訂をして	「志賀直哉全集」月報7号		53	はしがき
49	本郷時代	「広津和郎全集」月報第2号	54	高山祭りの幟字『飛驒高山』	水墨画
	篆刻と友だち	篆刻と刻字の技法		随筆 徐渭の水墨画	潮
50	大阪の夢「続俳人仲間」の第1編	新潮	飛驒高山の今昔	濃飛人	
	俳句ハ物體ヲ示ス	読売新聞	大阪の夢(承前)	新潮「続俳人仲間」の第1編	
51	老年	サンケイ新聞	牡丹漫筆	海	
	強い作文三つ	八王子高等学校 ぶんしゅう	序	黎明以前	
52	折柴句集 補遺 瀧井孝作	エッセイ	芥川賞の作家たち	「瀧井孝作全集」全11巻・別巻1巻完結	
	日本人のアルバム-瀧井孝作	中央公論	瀧井孝作全集	「瀧井孝作全集」全11巻・別巻1巻完結	
53	初暦の句など	吉屋信子句集	59	朴の葉	日本の名隨筆「冬」
	写生文の可能性-「俳人仲間」をめぐって(江藤淳との対談)	海	60	大阪の夢	「続俳人仲間」の第1編
54	無限抱擁	[岩波文庫刊]	———<各掲載誌について>———		
	瀧井孝作全句集の自序	俳句とエッセイ	・中央公論	中央公論社刊の総合雑誌(M20~現在)	
55	志賀さんの生活など	[新潮社刊]	・新小説	春陽社発行の小説誌(M22~T15)	
	トクサの庭	海	・層雲	荻原井泉水の俳誌(M24~S19, S21~現在)	
56	少年の目と老人の目	新潮	・太陽	博文館刊の総合雑誌(M28~S3)	
	鹿の子百合	心	・新潮	新潮社刊の文芸誌(M37~現在)	
57	瀧井孝作全句集	[牧羊社刊]	・海紅	碧梧桐の俳誌(T4~現在)	
	『無限抱擁』文学碑建立	[西之一色町]	・文章俱樂部	新潮社刊の文芸誌(T4~S4)	
58	ケヤキ冬木	朝日新聞	・サンエス	サンエス本舗発行の雑誌(T8~T9)	
	白い障子	新潮	・改造	改造社刊の総合雑誌(T8~S30)	
59	俳人仲間	[新潮社刊]	・人間(戦前)	東京人間社刊の文芸誌(T8~T11)	
	句集「山桜」(限定版・自薦自筆)	[講談社刊]	・表現	表現社刊の文芸誌(T10~T13)	
60	山茶花(短編集)	[大和書房刊]	・女性	プラトン社刊の文芸誌(T11~S3)	
	釣の楽しみ(釣随筆集)	[二見書房刊]	・週刊朝日	朝日新聞出版刊の週刊誌(T11~現在)	
61	近詠と自注-鮎の友づり	毎日新聞	・サンデー毎日	毎日新聞社刊の週刊時(T11~現在)	
	『瀧井孝作展』開催	[八王子市]	・文芸春秋	菊池寛創刊の文芸誌(T12~現在)	
62	かの二百合(随筆集・自薦)		・大調和	武者小路実篤編集の文芸誌(S2~S3)	
	俳句「属目と想出」	心	・文科	春陽堂刊の文芸誌(S6~S7)	
63	大阪の夢(承前)「続俳人仲間」の第1編	新潮	・文藝	改造社刊の文芸誌(S8~S32)	
	志賀さんの声	国文学	・文藝通信	文藝春秋社刊の文芸誌(S8~S12)	
64	瀧井孝作集	日本文学全集	・人間(戦後)	鎌倉文庫刊の文芸誌(S21~S26)	
	武者小路さんの絵と書など	新潮	・群像	講談社刊の文芸誌(S21~現在)	
65	いろいろのこと	心	・世界	岩波書店発行の雑誌(S21~現在)	
	俳句「身近かの花」	新潮	・心	平凡社刊の文芸雑誌(S23~S56)	
66	美しい大和の寺々	図書	・素直	素直社刊の文芸誌(S32~S35)	
	俳句と写生	俳句	・ざこくらぶ	釣り雑誌(S35~?)	
67	我孫子にて	志賀直哉	・波	新潮社刊の文芸誌(S42~現在)	
	俳句「花火など」	心	・海	中央公論社刊の文芸誌(S44~S59)	
68	巖に咲く花(能随筆)		・ツチグモ	高山の俳誌	
	素顔の文人 河東碧梧桐	海	・龍眠会	六朝書道研究会	
69	瀧井孝作全句集	[講談社刊]	———<参考資料>———		
	三つの寄稿の事など	海	・瀧井孝作生誕百周年記念「飛驒高山と瀧井孝作」		
70	新道繁さんの画室訪問	三彩			
	句集「初心」の序	初心			
71	瀧井孝作文学書誌	[永田書房刊]			
	無限抱擁	昭和文学 上			